



*HOOP『やってみよう！親子体感遊び』をしました（1月25日）

参観日にHOOP！～浜田親子共育応援プログラムをしました。今回のアドバイザーは小川豊先生、ファシリテーターは長浜まちづくりセンターの長谷川主事と原井主事でした。子ども達は親子で身近にあるタオルを使って綱引きや縄跳びをしたり、たくさんふれ合ったりしてとても楽しそうでした。また、おうちの人にギュッと抱きついた時の子ども達の表情はとてもうれしそうでした。そしておうちの人も子どもさんとしっかりふれ合って幸せな時間になったようでした。家で簡単にできる遊びをたくさん教えていただいたので、これからも続けてふれ合いの時間をもちたいという感想が多かったです。



*総合避難訓練をしました（2月1日）

浜田消防署の方に来ていただいて、火災を想定した総合避難訓練をしました。非常ベルが苦手な子どももいましたが、先生達に支えられ、訓練に参加できました。避難する時は「お」「は」「し」「も」の約束を守り、話をせず、真剣な表情で取り組むことができ、感心しました。遊戯室では、消防の方から、『火事は火も怖いけど、煙を吸ったら息が苦しくなるから、煙の方が怖いこと』等を丁寧に教えていただき、子ども達は一生懸命に聞いていました。そしてDVDで避難する時の約束を改めて学んでいました。スモークマシンの体験もDVDの中にあっただけで、子ども達は安心してスモークの中に入ることができました。煙の中は前が見えにくいですが、ハンカチで口を押え、姿勢を低くして進むことの大切さを感じていました。



真剣にお話を聞いています



スモークマシン体験中

*豆まきをしました（2月3日）

ピッコロさん（未就園児親子）が3組遊びに来てくれて、一緒に豆まきをしました。みんなで「♪おにはそと～・・・」と豆まきの歌を歌ったり、豆まきの由来を聞いたり、子ども達が作った鬼面を紹介したりしました。各学年ごとに発達に応じたとても素敵な鬼面ができていました。心の中の『泣き虫鬼』や『怒りんぼ鬼』そして『風邪ひき鬼』等を追い出す話をすると、自分と向き合って追い出したい鬼を考えている子ども達でした。豆まきは、始めは子ども達が鬼面をかぶって先生達がまく豆から逃げ、その後は先生達の鬼に思いっきり豆を投げていました。「鬼は～外、福は～内」とたくさん豆をまいたので、きっと鬼は逃げていったと思います。



*茶道教室でおしるしをいただきました（2月7日）

茶道裏千家淡交会石見支部の学校茶道連絡協議会の植田先生、佐々木先生、野上先生、野上先生、福富先生に来ていただき、今年度最後の茶道の会をしました。野点傘や春を感じさせる花が飾ってあり、お香のいい香りがする中、とても落ち着いた和の雰囲気を楽しむことができました。子ども達は先生のお話をよく聞いて理解しながら動くことができ、またお辞儀の仕方や運ぶ時の所作などをよく覚えていて、先生方からもたくさん褒めていただきました。自分でお茶を点てる時も細かい泡が上手にできていて、子ども達自身もうれしかったようでした。子ども達がお茶をいただいた後は、年長組の子ども達がおうちの人に点てて飲んでいただきました。心を込めて一生懸命に点てたお茶は、とても美味しかったと思います。そして最後に植田先生から『おしるし』をいただきました。立派に返事をして堂々と『おしるし』をいただく姿に卒園が近いことを感じました。



*長浜っ子フェスティバルを楽しみました（2月15日、16日）

子ども達のお店屋やゲーム屋に保護者の方へ買い物に来ていただいたり、舞台上で好きなことを発表したりするフェスティバルをしました。これまで自分達でアイデアを出しながらどんなお店にしようかと考え、的当て屋、飾り屋、プリキュア屋、くじ引き剣屋、パン屋、ハート屋、妖怪屋、ころころ屋、うどん屋、弁当屋がオープンしました。当日は朝からウキウキしながら開店準備をし、来店されたお客さんとのやりとりを大いに楽しみました。保護者の方々には、それぞれのお店で一人一人の子どもに丁寧に優しく声をかけ、子ども達のお店の良さを引き出していただきました。それぞれのクラスのショーも生き生きと発表することができました。翌日は、保護者の方に手作りのグッズのお店屋を開いてもらって、子ども達が『お買物券』で買い物をし、とてもうれしそうでした。

